

キャリア教育として実践する 入学事前授業



ソニー学園 湘北短期大学 情報メディア学科教授
(リベラルアーツセンター副センター長)

小棹 理子

ozao@shohoku.ac.jp

About us – 湘北短期大学

■ 神奈川県厚木市 小田急小田原線 本厚木駅からバス10分

– 新宿、横浜、小田原から約1時間

■ 4 学科 1 学年 500 名 の 総合短期大学

- 情報メディア学科 (男・女) (定員：100名)
- 総合ビジネス学科 (男・女) (定員：140名)
- 生活プロデュース学科 (女) (定員：140名)
- 保育学科 (男・女) (定員：120名)

■ 4つのセンター 共通の「就業力」を身につける

- リベラルアーツ (LA) センター **人間力**
- グローバルコミュニケーション (GC) センター **国際力**
- ICT教育センター **情報力**
- インターンシップ^o (IC) センター **実践力**



■ 6度 文部科学省GPに選定

– 平成21年度「現代型社会人育成を俯瞰する入学前教育構築」

湘北短大と高大連携協定を結んでいる高校



湘北短大型 入学事前授業の概要

■ 「現代型社会人育成を俯瞰する入学前教育構築」

- 入学前に湘北短大の実践型授業が体験できる構成
グループワークを取り入れたPBL型科目
- 入学後にリベラルアーツ科目 2単位が認定される



■ 入学前の2～3月に大学と同じ形式の授業を実施

- 1コマ 90分、12コマで4日間 通学
- 入学後4月-5月 に残り3コマ を開講、計15コマ

■ 本学への入学予定者全員が対象

- 入学者の90%超が受講
- 4学科 混合
- 4日程、各日程 110名～120名が受講



本日の内容

1. 入学事前授業開発のきっかけ

- 高大連携校との研究会 : 情報教育研究会
- 全国高校へのアンケート

2. 入学事前授業確立まで

- 「入学前講座」の試験的開講
- 受講生へのアンケート
- 文部科学省 GP支援による内容の充実
- 内容の完成

3. 効果の検証

- 受講生への追加アンケート
- 社会人キャリア育成アセスメント
- 評価のまとめ : 全学カリキュラムへの波及

4. まとめ

1. 入学事前授業開発のきっかけ

- **高大連携校との「情報教育研究会」から始まった**
 - 趣旨：「社会で求められている広範なIT能力をもった人材を育成すべく 高校・大学間でシームレスな情報教育を構築するための研究を行う。」
 - 平成18年度 特色GP「**高大連携による地域教育ネットワークの形成**」
 - 平成18年～19年 準備段階
 - 高校での教科「情報」の必修化に伴う問題の解決
 - 大学におけるいわゆる「情報リテラシー」科目の再検討
- **高大連携高校に対してアンケートを実施**
 - 高校における情報教育の実施状況の把握
- **情報教育研究会 設立（平成19年4月）**
 - 研究会の目的：**接続プログラム**の開発
 - 25校に対し参加よびかけ
- **コミュニケーション教育研究会に名称変更（平成19年5月～）**
 - 接続プログラムは「情報」に限定しない

1-1 コミュニケーション教育研究会

回	日時 (2007)	場所	内容
1	4月17日	湘北短大	新しい高大連携接続教育のコアとしてコミュニケーション能力の育成が必要であることを確認。他の接続教育プログラム例の紹介。
2	5月16日	神奈川県立 茅ヶ崎高校	大学教員が高校の授業を参観、図書室見学
3	6月13日	湘北短大	他参考例の紹介。接続教育プログラム用テキスト内容具体案の策定。
4	7月30日	湘北短大	高校教員から見て生徒に必要な能力 を把握するためのアンケートを実施
5	9月20日	湘北短大	
6	11月8日	湘北短大	「キャリア基礎能力・社会人基礎力」アップをめざした 接続講座の開発・実施
7	12月13日	湘北短大	
8	2008年1月22日	湘北短大	申し込み状況の確認と当日打ち合わせ。
9	2月15、16、 28(29)日、 3月12日(最終日)	湘北短大	高校教員・湘北教職員による 「コミュニケーションリテラシー」 講座(全12講)を開講。講座第12講(グループ発表)を高大連携各校に公開。(高大連携協議会開催日)
10	3月26日	湘北短大	「コミュニケーションリテラシー」のふりかえり。 アンケート結果の報告と今後の検討。

1-1 コミュニケーション教育研究会

第3回 の例 ケースメソッドの紹介



藤沢高校： 住谷先生、齋藤先生
茅ヶ崎高校： 三橋先生
有馬高校： 宮地先生
二宮高校： 岩崎先生

湘北短期大学： 岩崎、小野目、小田
井、藤澤、小棹



慶應義塾大学（飯盛研究室）
西田みづ恵（M1）、蒲地亜紗

1-2 高校アンケート

■ 平成19年：

- 対象：湘北短期大学近隣の高校366校の学校長と教科「情報」担当者
92校回答 (回収率 25.1%)、2名による回答：約20校
- 調査期間：平成19年6月30日～7月20日

■ 平成20年：

- 対象：高大連携校（各校複数回答） 104通回答
全国高校（5211校）への回答を依頼 751通回答（14.4%）
- 期間：平成20年9月5日～10月1日

■ 内容：

- キャリア基礎能力と社会人基礎能力の必要性と達成度、「情報」との関連性
- 高校教員の観点から、高等学校卒業時に必要であるが、不十分と考えられるキャリア/社会人基礎能力の把握
- 地域性があるのかどうかの検討
- 社会人に必要とされる基礎力を細分し、これら項目間での関連を探る
- 大学進学上の問題点の把握

1-2 キャリア基礎能力と社会人基礎力

キャリア基礎能力

- a. 一般常識
- b. コミュニケーション能力*
- c. ビジネス文書力
- d. 英語基礎力
- e. PC基礎操作力
- f. ビジネスの理解
- g. 就労意識
- h. 課題発見能力
- i. 専門知識・技能
- j. 企画・提案能力

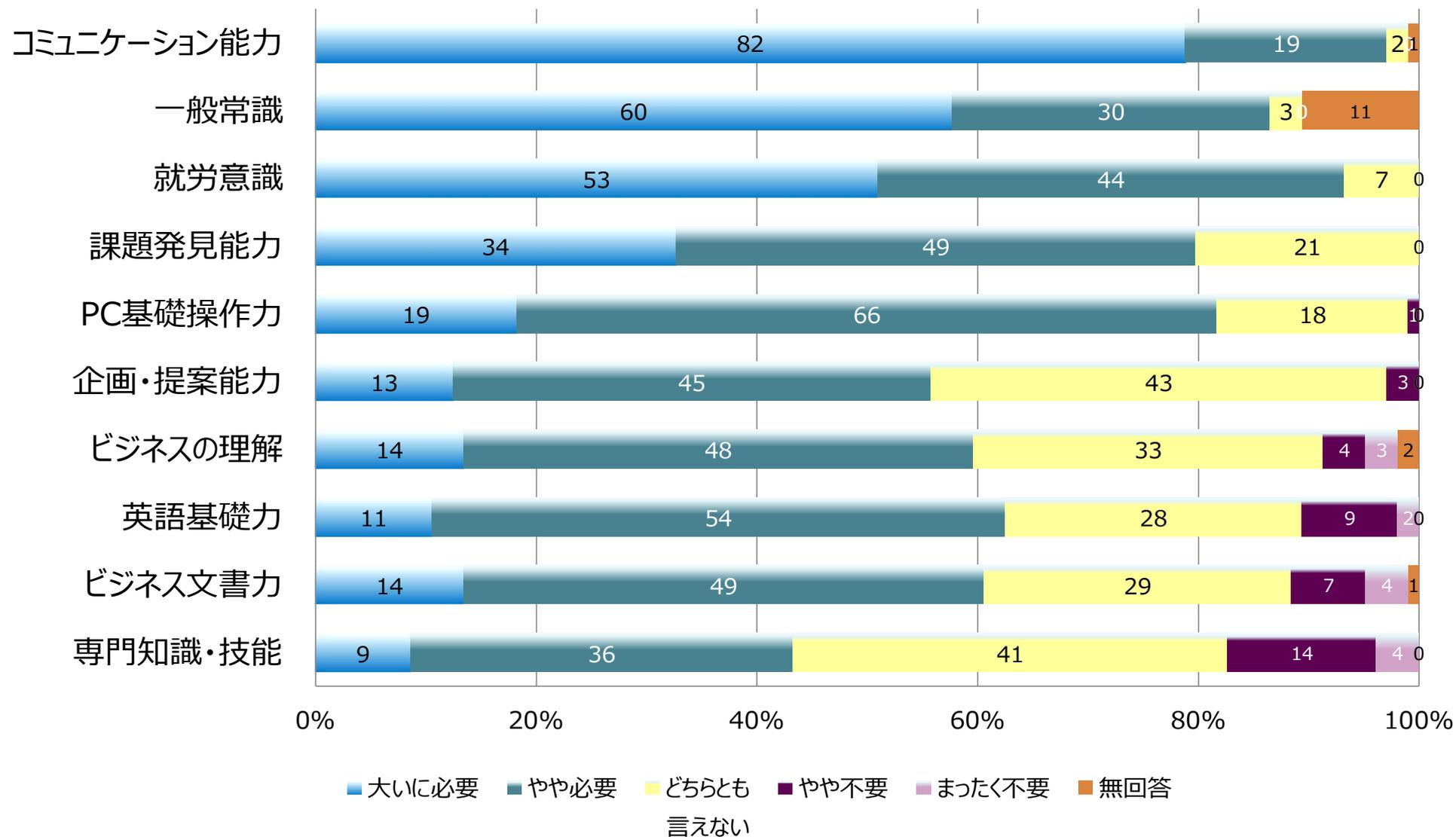
*他人の意見を聞き自己の意思を伝える能力

社会人基礎力

- ①物事に進んで取り組むことができる
- ②他人に働きかけ巻き込むことができる
- ③目的を設定し確実に行動することができる
- ④現状を分析し目的や課題を明らかにすることができる
- ⑤課題の解決に向けたプロセスを明らかにすることができる
- ⑥新しい価値を生み出すことができる
- ⑦自分の意見を分かりやすく伝えることができる
- ⑧相手の意見を丁寧に聴くことができる
- ⑨意見の違いや立場の違いを理解することができる
- ⑩自分と周囲の人々や物事との関係性を理解することができる
- ⑪社会のルールや人との約束を守ることができる
- ⑫ストレスの発生源に対処することができる

1-2 アンケート結果 連携校(平成20年)

大学で育成して欲しいキャリア基礎能力



2. 入学事前授業確立まで

■ アンケートからわかったこと

- 「コミュニケーション能力」の必要性が際だって高い（確認ができた）
- 「一般常識」「就労意識」「課題発見能力」も必要だが不足
- 問題発見・解決能力、表現力やプレゼンテーション能力もつけたい

■ 研究会での議論

- 早期に進路決定した生徒の勉学への動機付けが必要
- 2～3月を大学入学のための準備期間として接続講座ができないか



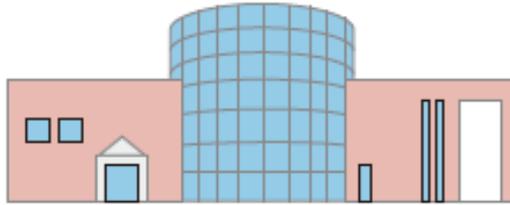
■ 高大接続講座の試作

- 湘北短大の教育を俯瞰できるもの
- グループ作業を取り入れた実践型授業
- Project Based Learning（PBL）の体験できるもの
- 時期：入学前の2-3月

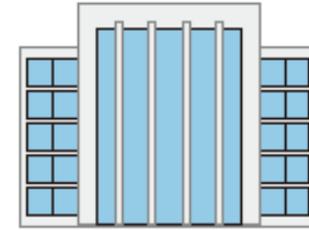
2-1 「入学前講座」の試験的開講



高校



湘北短期大学



社会

基礎教育

入学前講座

社会人に必要な基礎能力？

各学科卒
短期大学士

【目的】

- 大学と高校の違いの理解
- コミュニケーション力をつける

【対象】 高大連携高校から本学入学が決定した生徒、希望者のみ

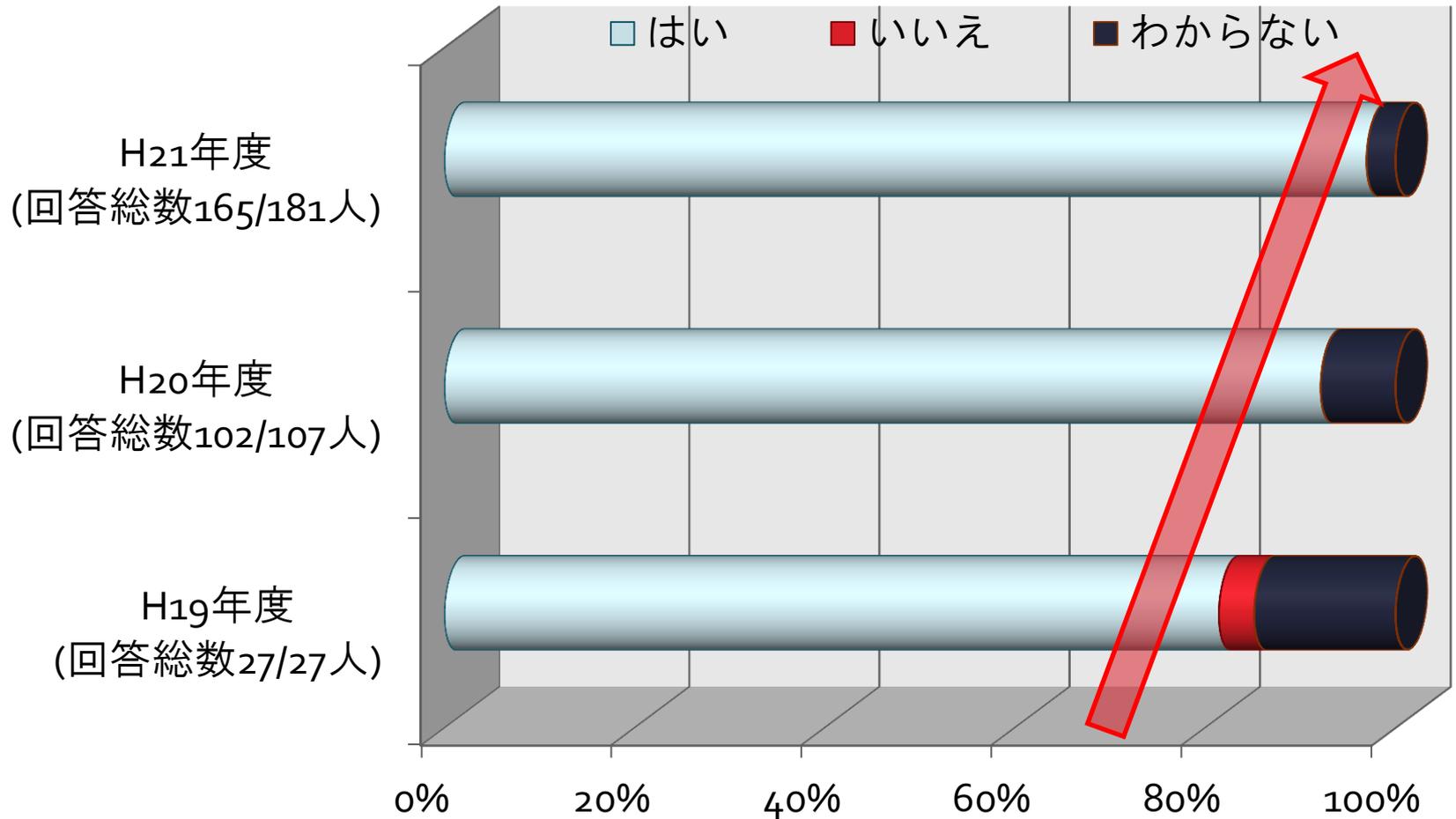
【場所】 湘北短期大学の資源を利用

【コマ数等】 90分/コマ × 12コマ

【結果】 平成20年は試験的、受講生30名

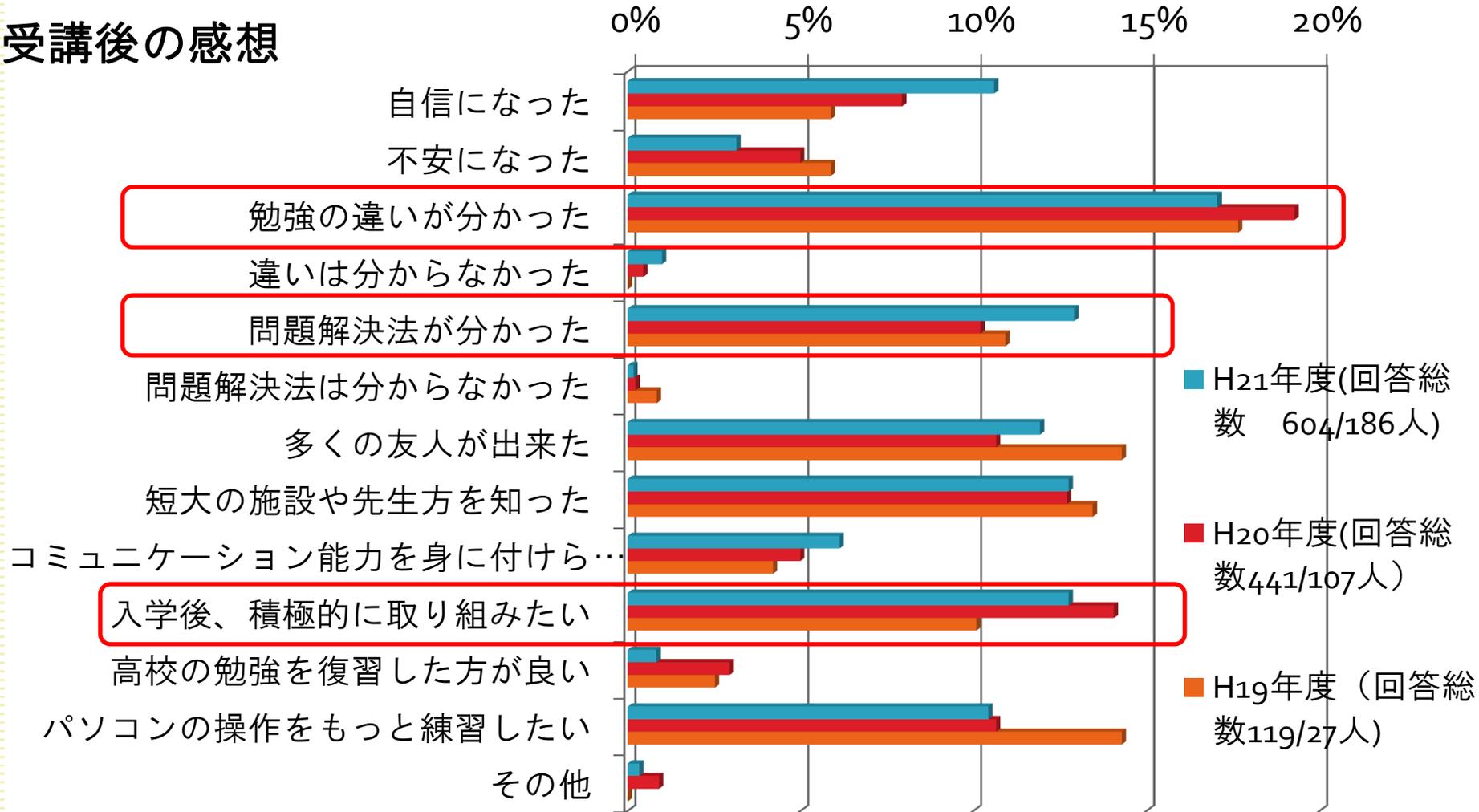
2-1 受講生のアンケート

後輩や他人に勧めますか

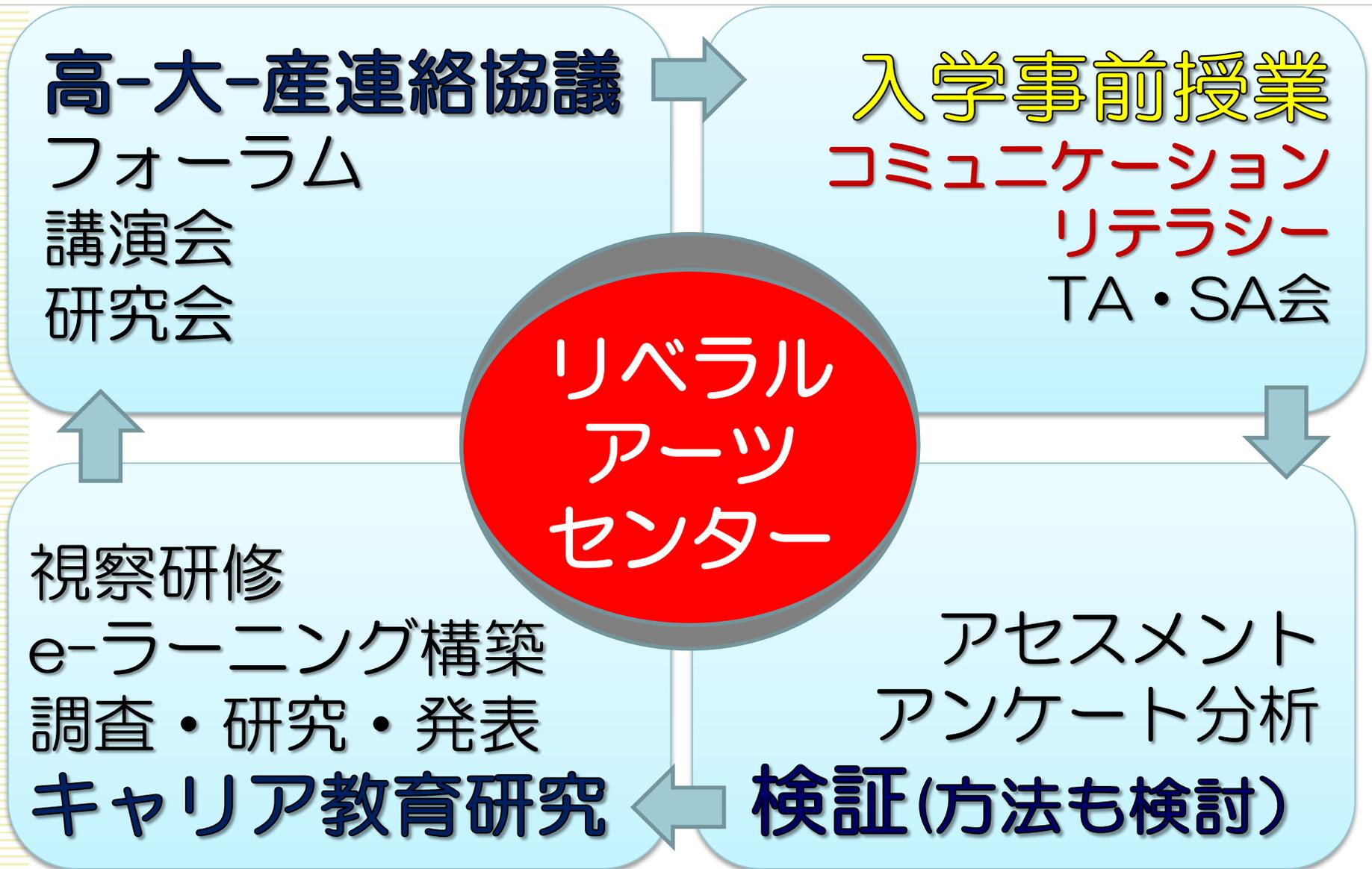


2-1 受講生のアンケート

受講後の感想



2-2 GP支援による内容の充実



2-2 GP支援による内容の充実

高大産連携 キャリア教育フォーラム（H22年6月12日）

- 基調講演： マイナビ編集長 望月 一志氏
- パネルディスカッション：日産自動車・ソニー株式会社
就職した卒業生の視点で高校・大学での教育を振り返る
vs 職場上長から卒業生を客観的に評価

米国教育機関 視察（H22年9月）

- Boston：公立チャータースクール
- Washington DC：コミュニティカレッジ
- New York：私立4年制大学 Monroe College
- Chicago：City Colleges of Chicago(7大学の地域連携)
- **Chicago: Shakespeare Center**

高大産連携 第2回キャリア教育フォーラム（H23年10月8日）

- 基調講演： 文部科学省 渡辺 廉弘氏
- 基調講演： アクティブラーニング 友野 伸一郎氏
- シンポジウム：
人事・総務の立場 ソニー株式会社、厚木市農業協同組合
vs 卒業生 三光機械株式会社、JAあつぎ、厚木瓦斯株式会社

2-3 科目の完成

新

H23	内容
1日目	【ガイダンス】 【アセスメント】
	【昼食】
	【ノンバーバルコミュニケーション】
	【コミュニケーションとことばの力】
2日目	【コミュニケーションの基本—話す技術】
	【昼食】
	【コミュニケーションの基本—書く技術】
	【図書館の活用と検索】
3日目	【問題の発見】
	【昼食】
	【問題の発見—MS-Office群の活用】
	【情報の分析と問題解決① グループワーク】
4日目	【情報の分析と問題解決② グループワーク】
	【昼食】
	【プレゼンテーション グループワーク】
	【まとめと発表】
e-ラーニング	
入学後	【まとめ】

旧

H22	内容
1日目	【ガイダンス】 【検定】
	【昼食】
	【メモの取り方】
	【メモの取り方・アイデアの出し方】
2日目	【コミュニケーションの基本—話す技術】
	【昼食】
	【コミュニケーションの基本—書く技術】
	【図書館の活用と検索】
3日目	【問題の発見】
	【昼食】
	【問題の発見—MS-Office群の活用】
	【情報の分析と問題解決① グループワーク】
4日目	【情報の分析と問題解決② グループワーク】
	【昼食】
	【プレゼンテーション グループワーク】
	【まとめと発表】
課題	
入学後	【情報倫理1】
	【ビジネスツールとしてのE-mail】
	【まとめ】 【検定】

2-5 科目の完成



ノンバーバルコミュニケーション



図書館の利用と検索

発音しにくい言葉も
こつをつかんで練習!

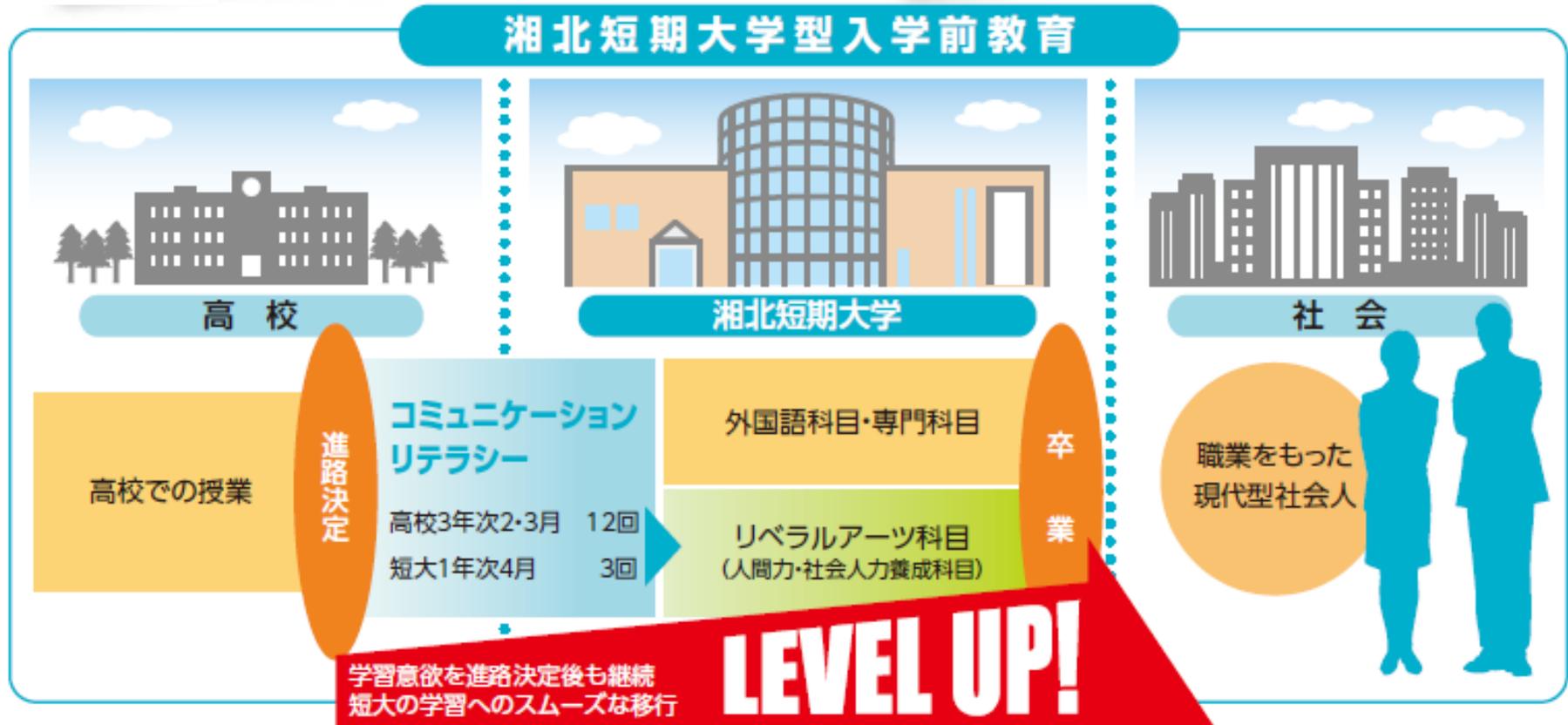


問題の発見/情報の分析と問題解決
(Excel, BrainWriting, PowerPoint)
まとめと発表



2-3 科目の完成

- 平成22年～ 90分/コマ 、 15コマ
入学後 リベラルアーツ科目として 2 単位を認定
- 平成23年～ E-ラーニングを導入



3. 効果の検証

■ 受講者数

- H21年から申し込み率増加
- H25年入学生は90%が申し込み
- H23年は東日本大震災のため半数（3月日程）が受講できず

■ 受講生へのアンケート調査(3-1)

- 受講直後
- 受講1年後

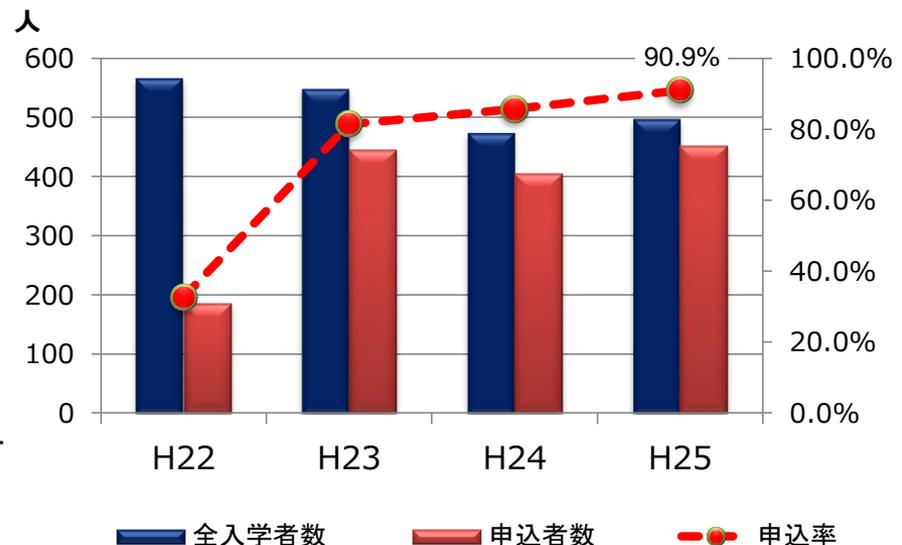
■ 社会人キャリア育成アセスメント(3-2)

- 社会人基礎力 + 基礎学力を問う。自己評価と客観評価からなる。
- 短期効果と1年後の効果

■ 企業からの卒業生評価

- H15と比較してコミュニケーション力向上

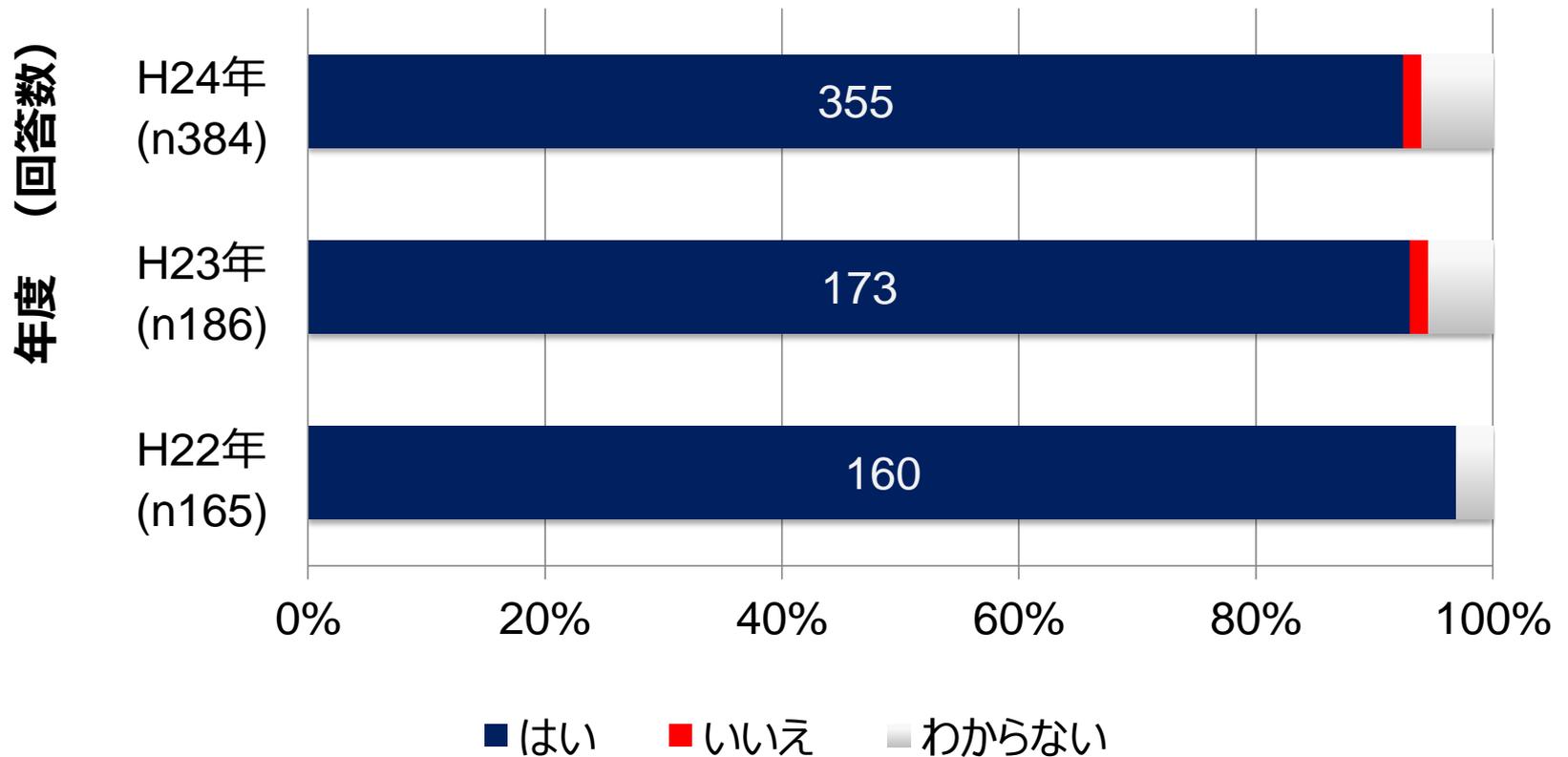
■ e-ラーニングアンケート調査(3-3)



就職率 97%

3-1 受講生アンケート結果

後輩や友人に受講を勧めますか？

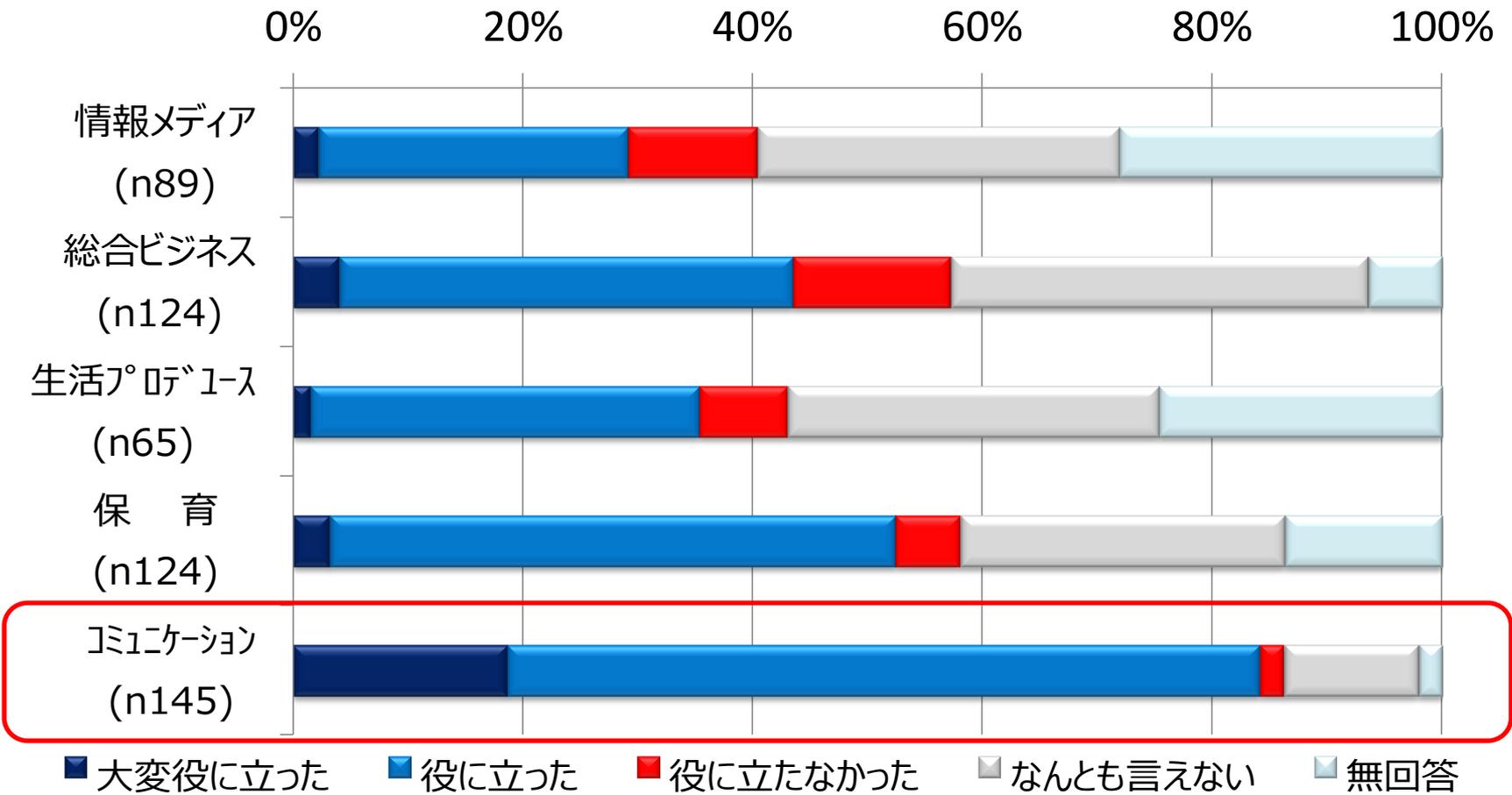


3-1 受講生アンケート結果

受講1年後の振り返りアンケート回答

・学科ごとの入学事前学習やコミュニケーションリテラシーは役に立ちましたか？

(下記「コミュニケーション」が全学的な入学事前授業)



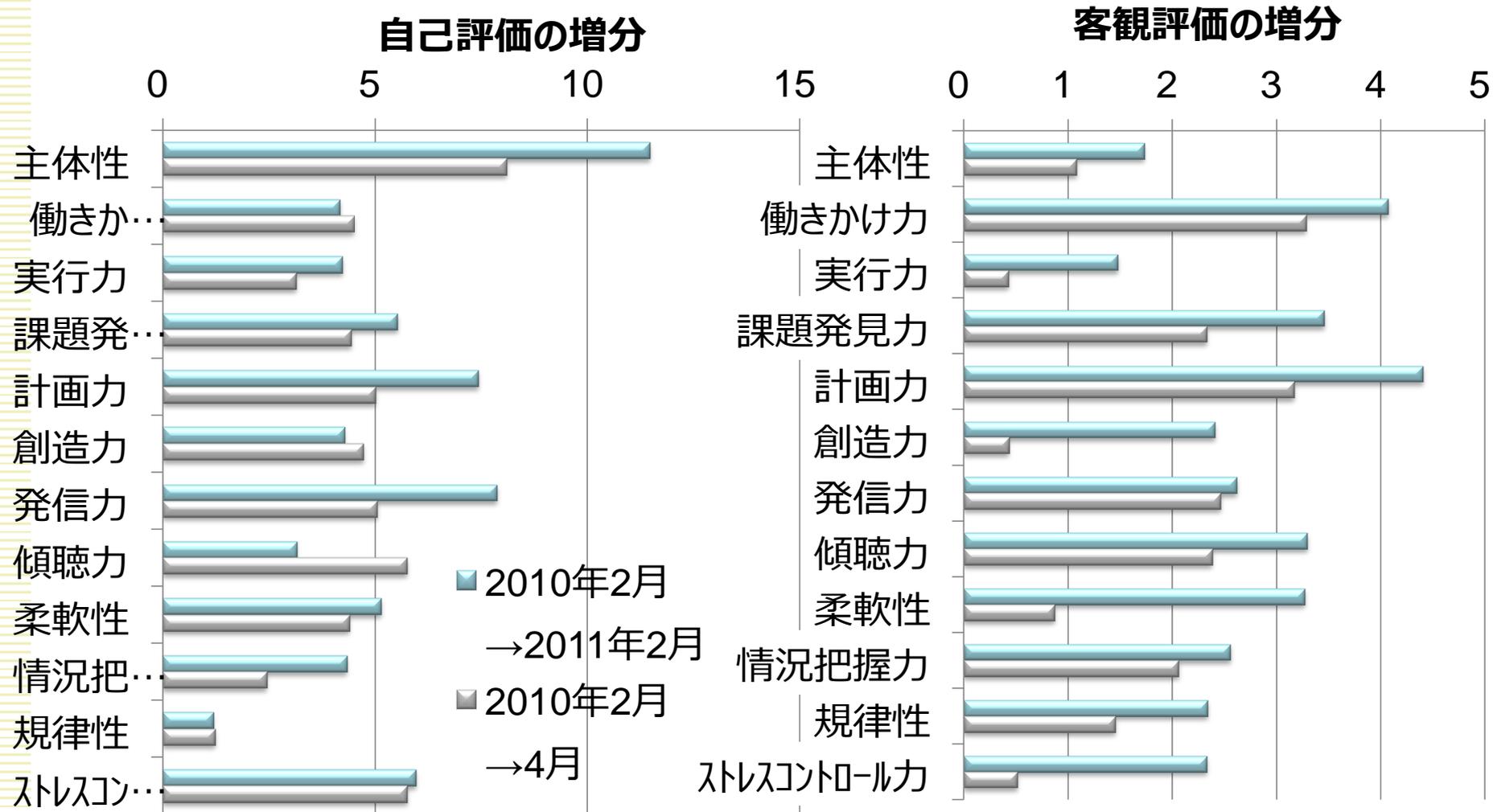
3-1 受講生アンケート結果

- 短大は高校と違って自分から積極的に動かなくてはいけないということがわかった。
- 友達とアイデアを出して1つのものを作り上げる楽しさを体験した。
- 自分の意見だけでなく、周りの意見もとりにいれながら結論をだすことの難しさがわかった。
- コミュニケーション能力がついたと思う。わからないことを自分で調べることも大事。
- グループワークやプレゼンの仕方、話し合いの進め方など今まで詳しく教えてもらっていなかったので新鮮だった。
- グループ内で役割分担し、一人ひとりが何かに取り組むことで一つのものができることの大切さがわかった。
- 事前に大学の様子が知れ、90分授業に慣れることができた。
- 限られた時間の中で仕事をこなすことの重要性を学んだ

3-2 社会人キャリア力育成アセスメント

平成22年 入学生の例		入学前2月 (N=180)		入学後4月 (N=169)		推移 (2月→4月の増分)					
		2月8日、9日		4月17日、24日		自己評価			客観評価		
		自己 評価	客観 評価	自己 評価	客観 評価	F検定	t検定	自己 評価	F検定	t検定	客観 評価
社会 人 基 礎 力	主体性	64.44	77.73	72.54	78.82	0.56	0.00	8.10	0.21	0.17	1.08
	働きかけ力	65.44	80.62	69.94	83.91	0.47	0.01	4.50	0.48	0.00	3.28
	実行力	68.22	82.93	71.36	83.36	0.39	0.04	3.14	0.29	0.61	0.43
	課題発見力	64.56	86.02	68.99	88.36	0.36	0.01	4.44	0.10	0.01	2.33
	計画力	60.44	89.42	65.44	92.59	0.83	0.00	5.00	<i>0.00</i>	0.00	3.17
	創造力	61.56	84.04	66.27	84.47	0.98	0.01	4.72	0.46	0.63	0.43
	発信力	61.11	86.20	66.15	88.66	0.31	0.00	5.04	1.00	0.01	2.46
	傾聴力	79.22	79.13	84.97	81.51	0.29	0.00	5.75	0.50	0.01	2.38
	柔軟性	76.44	86.78	80.83	87.64	0.41	0.00	4.38	0.82	0.36	0.87
	状況把握力	75.67	89.07	78.11	91.12	0.83	0.10	2.44	0.01	0.02	2.06
	規律性	86.22	89.98	87.46	91.43	0.91	0.35	1.23	<i>0.00</i>	0.15	1.45
	ストレスコントロール力	68.22	80.22	73.96	80.73	0.39	0.00	5.74	0.92	0.62	0.51
常 社 識 会 力 人	日本語力	62.00	54.83	64.97	56.04	0.81	0.07	2.97	0.47	0.49	1.20
	社会マナー	73.33	52.00	77.16	68.93	<i>0.00</i>	0.01	3.83	0.38	0.00	16.93
	時事問題	58.33	28.17	62.84	30.41	0.63	0.00	4.51	<i>0.02</i>	0.14	2.25
	計算力	65.78	49.28	68.88	40.00	0.39	0.07	3.10	0.82	0.00	-9.28

3-2 社会人キャリア力育成アセスメント

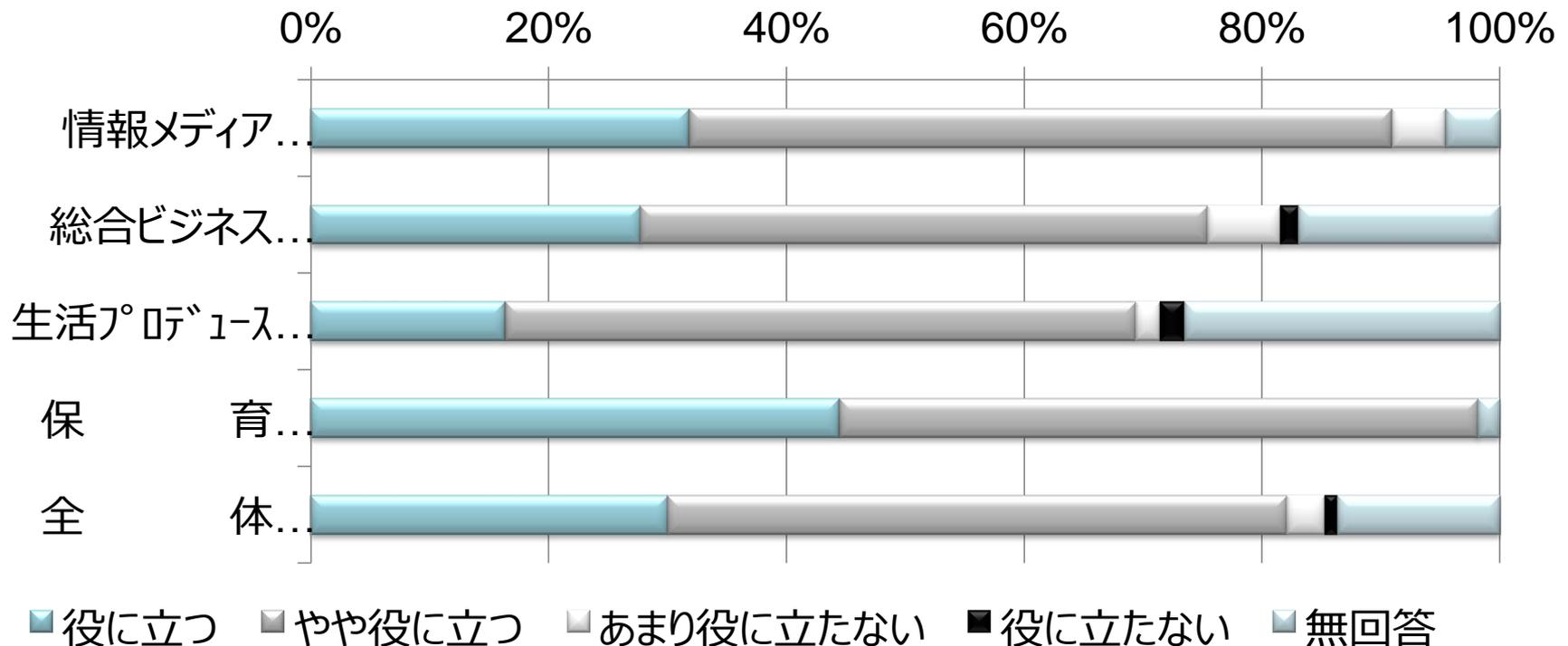


「気づき」： 必要な能力を意識することが第一のステップ

3-3 e-ラーニングに対するアンケート結果

- 就職試験として実施される一般常識問題に類似の3分野（言葉42問，暮らし44問，数学42問）からなるWeb課題。
- 平成23年3月15日～4月20日の間で197名のうち85.3%が受講

Q: 役に立ちましたか？



3-4 評価のまとめ

■ PDCAサイクルを繰り返すことによって、課題を解決

- 「コミュニケーションリテラシー」(入学事前授業)を受講して勉学意欲が高まったことが確認できた。受講直後、1年後共に満足度(有用度)は毎年90%前後で一定した評価が得られている。
- 高大産連携フォーラム・アンケート・アセスメントの結果を踏まえて「社会人基礎能力」も向上するプログラムへ改良した
- 社会人常識力強化のために「e-ラーニング」の導入。通学圏外の生徒にも対応、効率も向上した
- 授業に「ノンバーバルコミュニケーション」を導入
- TA/SAもファシリテーターとして成長。TA/SA会での反省点を授業に活用して良い方向に。

■ 高校の先生方からも高評価

- 3月の高大連携協議会で生徒の最終プレゼンテーションを報告、一定の評価を得た。

4. まとめ

■ 高大連携の重要性

- 高大連携事業（研究会）をとおして高校、大学双方のニーズに合致する 接続講座の構築を目ざしたことが入学事前授業の確立につながった

■ 入学事前授業の効果

- 早期から社会人に必要な力を獲得するための大学での学びを理解させることができた
- 入学前から学生に勉学意欲を持たせることができた

■ 入学事前授業開発に伴うその他の効果

- 大学全体を横断してカリキュラムを改善することにつながった。教育改革プロジェクトが編成され、全学的なプラットフォーム科目の開発が進んでいる。

■ 組織的な取り組みの重要性

- 入学事前授業の実施には、全学的な取り組みが必要、教職員の理解と組織としてのオペレーション体制の確立が必要
- ICTセンター、インターンシップセンターの協力が不可欠であった
- 平成18年度「特色GP」での高大連携ネットワーク構築経験が貢献した

参考資料

- 小棹理子・伊藤善隆・高橋可奈子・野村亞住、
「大学生のための基礎力養成ブック」 丸善出版（2012）
ISBN978-4-621-08518-9
- 小棹理子、「コミュニケーションリテラシー～高大連携から生まれた湘北短期大学
入学予定者対象の接続教育プログラム～」
大学と学生 vol54、pp57-63（2008）
- 湘北短期大学、「現代型社会人育成を俯瞰する入学前教育構築」
平成22年度大学教育改革プログラム合同フォーラム 平成23年1月24日
pp96-99（2011）
- 小棹理子・伊藤善隆・岩崎敏之・高橋可奈子、
「社会人育成を俯瞰する短大型入学前教育の構築」
ICT活用教育方法研究 vol15、pp43-48（2012）
- 各年度事業活動報告書
<http://scopp.shohoku.ac.jp/dl/index.html>

入学前授業 コミュニケーションリテラシー





ご清聴ありがとうございました

小棹 理子

ozao@shohoku.ac.jp

